

第38回人事院総裁賞 受賞者一覧

令和8年2月10日 事務総局総務課

◆ 皇室行事の舞台裏を支える「走る」匠



皇宮護衛官として40年勤務し、20年以上側車（サイドカー）・白バイ乗務員として皇室行事の護衛業務に尽力。特に高度技術を要する側車での護衛で突出した実績を持ち、後進育成や技術伝承にも尽力。さらに新型側車開発に伴う関係機関との調整にも関与し、皇室の安全確保と国家的行事の円滑な運営に大きく貢献

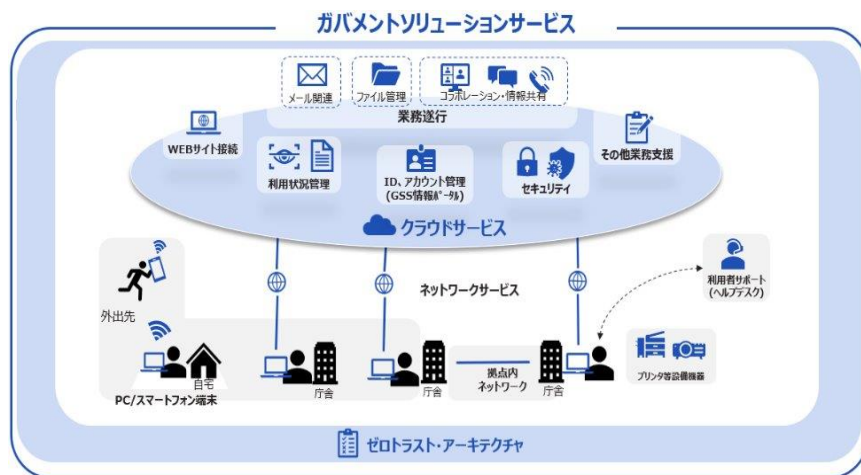


▲天皇陛下御即位に伴う祝賀御列の儀における護衛の様子



▲皇宮警察本部（旧枢密院）前に整列する側車部隊

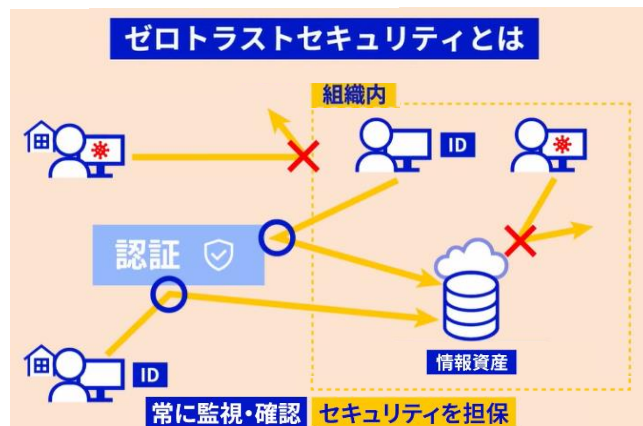
◆ 柔軟な働き方とセキュリティを両立し行政DXを支える政府共通基盤



▲ GSSの全体像



▲ GSS端末を使用した業務イメージ



▲ GSSにおけるセキュリティの仕組み

政府共通の標準的な業務実施環境（業務PCやネットワーク環境）として、ガバメントソリューションサービス（GSS）を提供。令和3年のサービス開始以降順調にGSSへの移行が進み、令和8年1月時点において約4万7,000人が利用、今後約28万人規模まで拡大予定。テレワーク推進や業務効率化に寄与し、国家公務員の働き方改革と生産性向上に大きく貢献

外務省 ミャンマー地震対応チーム (海外緊急展開チーム (ERT) 及び 国際緊急援助隊 (JDR) 医療チーム)

◆ 危機の現場で命と希望を守り日本の信頼を支える架け橋



▲医療チームによる医療活動の様子



▲昼夜を問わず続く行方不明者搜索の様子

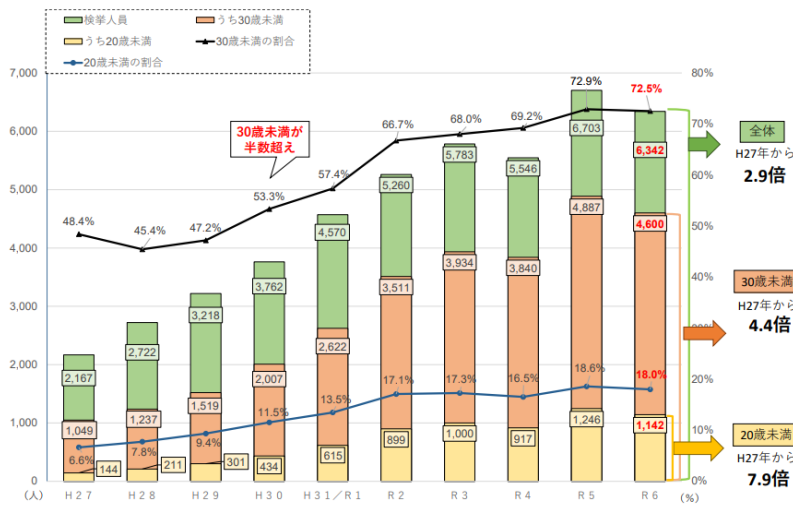


▲大使館による動画発信

©在ミャンマー日本大使館

治安・衛生環境が悪化し、酷暑の続く中、在留邦人の安否確認や避難・帰国支援、被災者支援に尽力。現地の情報収集やニーズ把握、日本の支援内容の発信も積極的に行い、在ミャンマー大使館による動画の総閲覧数は約1,200万回に到達。現地社会や在留邦人からも高い評価を受け、日本国及び公務の信頼向上に大きく貢献

◆ 過去最大の摘発で社会の安全と未来を守る連携の力



▲ 大麻事犯の検挙人数・年齢構成の推移



▲ 薬物事犯の捜査に当たる捜査員（イメージ）



▲ 押収した大麻

3省庁が連携し、東南アジアからの大規模大麻密輸事件
に対して共同調査を実施。過去最大規模となる約1トン
（末端価格約52億円相当）の大麻を摘発し、関係者を逮捕。
我が国の将来を担う若年層の健康被害の防止や違法薬物の
流通阻止により社会の安全・秩序維持に大きく貢献

◆ 物流現場の課題を可視化し変革に果敢に挑む先駆者



▲ Gメンがドライバーにヒアリングの様子



▲ 他地域の運輸局との合同パトロールの様子



▲ Gメンのロールプレイング研修の様子

いわゆる2024年問題^(※)で輸送能力不足が懸念される中、
プッシュ型情報収集や荷主への是正指導を実施。予告なし
訪問や毎月のオンライン説明会で理解促進を図る取組は全
国に波及。訪問は約5,000箇所、説明会参加は累計1万人。
荷主とトラック事業者の相互理解の深化により、トラック
労働者の労働環境改善や持続可能な物流の実現に向けて大

きく貢献

※ 2024年4月からトラック労働者に時間外労働の上限規制（年960時間）が適用されることにより、労働時間短縮に伴う輸送能力不足や物流停滞が生じるとされる問題